

《共通基礎科目 第二外国語科目》

科目名	韓国語				
担当者氏名	李 知妍				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	1年・春期

《授業の概要》

韓国語の文字の仕組みを理解しながら単語と文章の読み書きや聞き取りの練習をしながら学習する。文法事項を理解しながら挨拶や自己紹介などの基礎的な会話表現を学習する。韓国の社会や生活文化などが理解できる映画やドラマを選定し、語学能力を含む文化の理解を深める。

《授業の到達目標》

韓国語の基礎から簡単な会話、読み書きの習得を目的とする。ハングル文字構成を理解し、日常生活で最も良く使われる基礎的な短文表現を身につける。簡単な挨拶や自己紹介からはじめ、学習内容を基礎にして場面別の会話表現を習得する。韓国文化の理解を深め、コミュニケーション能力及び国際感覚を身につける。

《成績評価の方法》

定期試験 50%、平常点（受講態度）30%、小テスト20%

《テキスト》

『みんなで学ぶ韓国語（文法編）』 金眞・柳圭相・芦田麻樹子 朝日出版社

《参考図書》

油谷幸利 他編著 『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典』 小学館
塚本勲 監修・熊谷明泰編集 『パスポート朝鮮語小事典』 白水社
『みんなで学ぶ韓国語（会話編）』 金眞 朝日出版社

《授業時間外学習》

テキストの基礎学習内容を中心に学習し、話せる語学授業を目指すのが大事ですので声を出して発音の練習をする。自作のプリントなど様々な資料を配るので自ら学習すること。

《備考》

テキストに付いているCDを良く聞きながら発音の練習をすることが必要
出席及び積極的授業参加、復習・予習をすること

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	ガイダンス及び基本母音	ハングルの構造・10個の基本母音
2	子音（平音）	9個の子音（平音）とその単語
3	子音（激音・濃音）	10個の子音（激音・濃音）とその単語
4	複合母音	11個の複合母音とその単語
5	終声子音	7個の終声子音とその単語
6	読みの法則	文字の復習及び読みの連音化、激音化、濃音化
7	L1私は吉田ひかるです。	助詞～は、指定詞～です（文章体）
8	L2お名前は何かですか。	疑問表現
9	L3ここは出口ではありません。	否定表現
10	Review 1	1～3課の復習と応用
11	L4近くに地下鉄の駅ありますか。	助詞～に、存在詞
12	L5学校の図書館でアルバイトします。	助詞～で、～を、～と
13	L6私の誕生日は10月9日です。	漢数字の活用（日付と値段の言い方）
14	Review 2	4～6課の復習と応用
15	総括	まとめ